

戦略 1 攻めの「やまなし」成長戦略

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	1	やまなしを牽引する産業の育成	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	7
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>世界的に進んでいる第4次産業革命は、これまでのものづくりの方法を大きく変え、産業構造やさらには社会構造を変革していくとされています。そのため、本県の基幹産業である機械電子産業の優れた技術の蓄積を生かしながら、新たな技術等を取り入れ、今後も成長が期待されている医療や健康に関連した産業や、次世代のエネルギーに関連した産業などの育成を図ります。</p> <p>また、成長が見込まれるアジア諸国や日本における成長の中心である東京と、中部横断自動車道やリニア中央新幹線により、大幅に時間距離が短縮し、物流環境をはじめ、ヒトやモノが迅速に移動可能となる環境が整備されるメリット、観光資源としての富士山の優位性などを最大限活用して民間資本の誘致などを進めるとともに、オリンピック・パラリンピックの開催を起爆剤とした県内産業の活性化などにより、次代を担う産業の育成を図ります。</p>				
令和元年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 医療機器関連産業の集積		P.3	産業労働部
	○ 水素・燃料電池関連産業の集積		P.3	産業労働部
	○ 企業立地の促進		P.3	産業労働部
	○ リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進		P.4	リニア交通局
	○ 起業（創業）支援の充実・強化		P.4	産業労働部
	○ 東京オリンピック・パラリンピックへの対応		P.4	スポーツ振興局
	○ スポーツによる地域振興（東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用）		P.5	スポーツ振興局 外
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		2,134 百万円	
	前年度までの事業費		— 百万円	
	本年度の事業費		2,134 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	医療機器等の開発に関連する企業数	61社 (H30)	100社 (R 4)	71社 (R 1)	25.6
	水素・燃料電池関連分野への参入企業	50社 (H30)	70社 (R 4)	55社 (R 1)	25.0
	地域未来投資促進法(ものづくり、物流等)に基づく事業者の立地計画の承認件数	33件 (H29 - 30累計)	39件 (R1 - 4累計)	6件 (R 1)	15.4
	県支援による起業	63件/年 (H30)	80件/年 (R 4)	99件/年 (R 1)	211.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
医療機器関連産業の集積 【成長産業推進課】	商工総務費 (62,058) 47,071	成長産業として期待される医療機器関連産業の集積を促進するため、県内医療機関等と連携し、中小企業等の医療機器関連分野への進出を支援した。 これにより、医療機器関連産業への参入企業の増加に寄与した。 ・医療機器等の開発に関連する企業数 71社 ・「メディカル・デバイス・コリドー推進計画」の策定 令和2年3月
水素・燃料電池関連産業の集積 【成長産業推進課】	企業立地対策費 (79,373) 68,434	成長産業として期待される水素・燃料電池関連産業の集積を促進するため、山梨大学などと連携して中小企業等の水素・燃料電池関連分野への進出を支援するとともに、水素・燃料電池関連産業の先端的な評価・研究を推進した。 これにより、水素・燃料電池関連産業への参入企業の増加や評価・研究の進展に寄与した。 ・水素・燃料電池関連分野への参入企業 55社 ・産業技術センターにおける評価事業の実施
企業立地の促進 【成長産業推進課】	企業立地対策費 (1,407,913) 1,386,167	雇用の確保や県内経済の活性化を図るため、工業団地の整備を行う市町村等を支援するとともに、地域未来投資促進法に基づく物流等に関する基本計画の策定や、各種の支援制度並びに法令等に基づく税制優遇等により、本県への企業立地や事業の拡大を促進した。 これにより、県内への製造業等の企業立地が進み、雇用の確保や県内経済の活性化が図られた。 ・市町村等の工業団地整備への支援 3件 ・産業集積促進助成金による立地企業に対する支援 15件 ・地域未来投資促進法（ものづくり、物流等）に基づく事業者の立地計画の承認件数 6件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進 【リニア未来創造・推進課】	企画総務費 (461,769) 360,916 [47,250]	<p>リニア開業を契機に県内経済の活性化を図るため、民間資本の誘致などについて、様々な視点から実現可能性や具体的な手順を検討し、その方針を示すとともに中間駅周辺の整備内容を示したりニアやまなしビジョンを策定した。</p> <p>また、建設工事を予定どおり進めるため、計画的に用地取得を進めた。</p> <p>これにより、リニア中央新幹線開業に向けた取り組みの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リニアやまなしビジョン」の策定 ・全体の約4割の用地を取得
起業（創業）支援の充実・強化 【成長産業推進課】 【産業振興課】	商工総務費 (33,793) 28,114 資金貸付金 (商工業振興) (資金特別会計) (300,000) 68,746	<p>県内における起業を促進するため、機運の醸成やノウハウの提供、資金面の支援を行うとともに、産学官金連携による支援体制を強化した。</p> <p>これにより、更なる起業支援の充実・強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生向けビジネスアイデアコンテスト参加 7校 107人 ・ビジネスプランコンペ参加 21組 27人 ・起業支援金支給 11件 ・商工業振興資金起業家支援融資の利用 73件
東京オリンピック・パラリンピックへの対応 【オリンピック・パラリンピック推進課】	企画総務費 (166,229) 28,062 [136,911]	<p>大会開催を契機に本県の魅力を世界へ発信し、地域の活性化につなげるため、自転車競技ロードレースや聖火リレーの開催、事前合宿の円滑な実施に向けた準備を着実に進めた。</p> <p>これにより、東京オリンピック・パラリンピックに向けた体制の構築等が進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック山梨県実行委員会の開催 令和元年6月 ・1年前記念イベントの開催 令和元年7月 ・事前合宿受入市町村や受入施設を対象とした研修会の開催 2回 ・自転車競技ロードレーステストイベントの運営支援 令和元年7月 ・都市ボランティアの募集・養成 117人 研修会 延べ4回 ・オリンピック聖火リレーランナーの公募 ・オリンピック聖火リレーランナーの選定 県実行委員会分 49人

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
スポーツによる地域振興 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用) 【オリンピック・パラリンピック推進課】 【スポーツ振興課】 【市 町 村 課】	企画総務費 (17,185) 10,992 市町村振興資金貸付金 (市町村振興) (資金特別会計) (500,000) 135,400	東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、スポーツによる地域振興を図るため、大会及び事前合宿、関連イベントの円滑な実施に取り組んだ。 また、スポーツが成長産業として地域経済を活性化し、地域振興に結びつくような取り組みについて検討を進めた。 これにより、大会会場地及び合宿地としての本県の認知度やステイタスの向上及びスポーツによる地域振興に寄与した。 ・令和元年度末現在のホストタウン登録数 14 市町村 ・共生社会ホストタウン登録数 1 町 ・ホストタウン登録市町村が行う交流・機運醸成事業を支援 10 市町村 ・日本代表受入に関する取り組み ラグビー 2 回 陸上競技 1 回 トライアスロン 6 回 ・スポーツによる地域活性化懇話会の開催 1 回 ・市町村振興資金による事業実施 3 市 8 事業

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
-----------	----------	----------------------

政策	2	観光産業の振興	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	16
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>本県には、世界遺産である富士山をはじめ、峡東地域の葡萄畑の風景などの日本遺産や、身延山等の歴史的な文化資産や歴史的建造物、地元特産の食材や料理、県内各地にある温泉といった観光資源が豊富にあり、観光客数は外国人旅行者を中心として増加傾向にあります。しかしながら、観光消費額が伸び悩んでおり、観光産業の更なる高付加価値化に努める必要があります。</p> <p>そのため、観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」の向上に取り組むとともに、山梨の強みを生かした地域資源の磨き上げや、コト消費・トキ消費に対応した観光推進、さらには今後も増加が期待されるアジアを中心としたインバウンド観光への対応などに取り組んでいきます。</p>				
令和元年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 受入環境の整備		P. 9	観光文化部 外
	○ 地域資源の活用		P.10	観光文化部
	○ 魅力が伝わる情報発信		P.11	観光文化部
	○ 観光産業の生産性向上等の推進		P.11	観光文化部
	○ 観光振興を通じた県内経済活性化（東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用）		P.12	スポーツ振興局 外
	○ サイクル王国やまなしの実現		P.13	県土整備部 外
	○ 南アルプス観光の促進		P.14	観光文化部 外
	○ 「ワイン県」宣言を活用した観光振興		P.14	観光文化部
	○ 世界文化遺産富士山の普及啓発		P.15	観光文化部
	○ 富士山の安全対策の実施		P.15	観光文化部 外
	○ 登山の安全の確保		P.15	観光文化部 外
	○ 伝統的観光地の再活性化		P.16	観光文化部
	○ 森林の保健休養機能の活用		P.16	森林環境部
	○ 地域資源を活用した農泊の推進		P.16	農政部
○ 農業遺産の活用による農業振興		P.17	農政部	
○ インフラの価値や魅力の情報発信		P.17	県土整備部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		1,957 百万円	
	前年度までの事業費		一百万円	
	本年度の事業費		1,957 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	観光客満足度	41% (H30)	50% (R 4)	41% (R 1)	0.0
	観光客一人あたり平均消費額	10,616 円 (H30)	12,000 円 (R 4)	12,498 円 (R 1)	136.0
	延べ宿泊者数	861 万人 (H30)	970 万人 (R 4)	907 万人 (R 1)	42.2
	富士の国やまなし観光ネットアクセス数	944 万 PV (H30)	1,200 万 PV (R 4)	1,023 万 PV (R 1)	30.9
	観光消費額	4,001 億円 (H30)	4,500 億円 (R 4)	4,330 億円 (R 1)	65.9
	宿泊・飲食従業者一人あたりの付加価値額	223 万円 (H30)	260 万円 (R 4)	—	—
	世界遺産センター（北館＋南館）入館者数	50 万人 / 年 (H30)	71 万人 / 年 (R 4)	479,274 人 (R 1)	△ 9.9
	五合目インフォメーションセンターでの外国人等相談対応件数（開山期間中）	9,430 件 (H30)	H30と同水準を維持 (R 4)	12,364 件 (R 1)	—
	森林公園、森林文化の森、清里の森の利用者数	713 千人 / 年 (H30)	787 千人 / 年 (R 4)	642 千人 / 年 (R 1)	△ 96.0
	農泊ビジネスプランの策定地区数	5 地区 (H30 累計)	11 地区 (R3 累計)	9 地区 (R 1 累計)	66.7

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
受入環境の整備 【観光文化政策課】 【観光資源課】 【観光振興課】 【県有林課】	観光総務費 (8,156) 7,707 観光施設費 (60,000) 51,384 [7,742] 緑のふるさと推進事業費 (11,000) 10,833	<p>地域全体で温かく観光客を迎えるため、住民の郷土教育やおもてなしに主体的に取り組む人材の育成、美しい景観づくり、市町村等が行う観光施設整備への支援の実施、ユニバーサルデザイン化の推進、インバウンド観光客に対応した通訳案内士による観光ガイドや新たな体験メニュー開発などを進めた。</p> <p>これにより、県民等の自主的なおもてなしの取り組みの促進や、観光客の受入環境の整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしのやまなし知事表彰 令和2年1月 14 (個人・団体・事業者) ・美しい景観づくり 選定会議 年2回 選定箇所 7箇所 ・富士の国やまなし観光振興施設整備補助金 補助対象 7市町村 事業 9事業 ・通訳案内士による企画ツアーの実施 2回 ・通訳案内士を活用したツアー等の実施 3回 ・食の多様性対応セミナー開催 2回 ・おもてなしユニバーサルフード対応推進アドバイザー派遣 6回 ・眺望伐採等の森林整備 4箇所

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
地域資源の活用 【観光文化政策課】 【観光振興課】 【観光資源課】	観 光 総 務 費 (1,469) 904	<p>コト消費型・トキ消費型といった観光ニーズの多様化や旅行形態の変化に対応するため、魅力ある地域資源の磨き上げとともに、富裕層を含め、旅行者のニーズに適した体験型プログラムを組み込む着地型観光などの推進に取り組んだ。</p> <p>これにより、地域における観光客の受入体制の整備促進や情報発信の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイトタイムエコノミー*推進セミナーの開催 2回(甲府・富士吉田) 参加者 64人 ・ 峡東ワインリゾート魅力発見講座の開催 全2回累計 42名参加 ・ 峡東地域のワインや宿泊等の事業者が連携して行う地域活性化の取り組みへの支援 6件 ・ 日本遺産映像コンテンツ(春夏)の制作 ・ 日本遺産外国人向けモニターツアーの実施 令和元年11月～令和2年1月 計3日間 24名参加 ・ 日本遺産解説用案内看板・道標の設置 案内看板 11基 道標 16基 ・ 富士川地域歴史・文化ツーリズム推進会議の開催 令和元年6月 ・ 峡南地域の観光情報WEBサイトの運用 ・ 「食の魅力」向上に資する料理講習会等の実施 令和2年1月 15名参加 ・ 富士川御湯印めぐりと連携した地域周遊マップの作成 ・ 峡南地域の観光資源を巡る体験ツアーの実施 令和元年10月 15名参加 ・ 富士川地域 裏不二(富士)インスタグラムフォトコンテスト 応募総数 348点 ・ 山梨の食とワインに関するイベントの実施 令和元年12月～令和2年2月 2回

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
魅力が伝わる情報発信 【観光振興課】	観光宣伝費 (14,042) 13,672	<p>本県観光の魅力が国内外の観光客に正確に伝わるよう、情報発信技術の活用や、オンライントラベルエージェントとの連携強化による効果的な情報発信に取り組むとともに、市場特性に応じた国際観光プロモーションや多様な国際交流の推進に取り組んだ。</p> <p>これにより、旅マエ、旅ナカなど観光客の多様なニーズに応じ、必要な情報が容易に取得できることに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士の国やまなし観光ネットでのページビュー数 1023万PV（前年比108.4%） ・外国人に向けた観光案内アプリ「FUJISAN ACTIVITIES」による特集コンテンツの情報発信 ・オンライントラベルエージェントと連携した海外への情報発信 1回 ・友好関係を構築した国・地域を対象としたプロモーションの実施 2回 ・日本政府観光局と連携した旅マエの情報発信 オンラインプロモーション実施 表示件数 8,333,271回
観光産業の生産性向上等の推進 【観光文化政策課】 【観光振興課】	企画総務費 (4,940) 4,387 観光総務費 (46,957) 40,059	<p>裾野が広い観光産業の「稼ぐ力」「働く魅力」を高めるため、観光産業の生産性の向上や観光人材の育成、販路拡大に取り組んだ。</p> <p>これにより、ビッグデータ等を活用した観光協会の取り組みや観光客の消費喚起、観光消費額の増加に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ等を活用した地域の観光協会の取り組み支援 3件 ・観光消費額 432,989百万円（前年比108.2%） ・ビッグデータを活用した外国人観光客動態・消費動向調査を行い、各種調査結果を活用したプロモーションを実施 ・DMOによる観光生産性向上講座の開催 延べ実施回数 16回 延べ参加人数 773人 ・DMOによる専門家派遣事業の実施 22件 ・MICE*誘致を促進するため、「やまなし MICE ガイド」等で情報発信 ・県産品の販路拡大促進 物産展等の開催 16回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
観光振興を通じた 県内経済活性化 (東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用) 【オリンピック・パラリンピック推進課】 【観光振興課】 【県有林課】	企画総務費 (6,873) 2,805 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (14,858) 11,417 [1,770]	東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、観光振興を通じた県内経済の活性化を図るため、観光資源、県産品など本県の魅力の積極的な情報発信に取り組んだ。 これにより、県産品の認知度向上やフランス人観光客の誘客に寄与した。 ・第20回 Japan Expo2019 (フランス) への出展 令和元年7月 ・日仏ビジネス冊子「フランス・ジャパン・エコー」へ県産品などの紹介記事の掲載 令和元年12月 ・令和元年フランス人宿泊客数 延べ13,560人(前年比121.3%増(宿泊旅行統計調査)) ・選手村から返却予定の県産材の活用先選定 4箇所

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
サイクル王国やま なしの実現 【道路整備課】 【交通政策課】 【観光振興課】	交通安全推進費 (571) 435 道路橋りょう整備費 (30,616) 14,116 [16,500] 道路橋りょう総務費 (1,303) 148 観光宣伝費 (765) 765	<p>東京オリンピックの自転車競技ロードレースコース等を活用し、本県への誘客を促進し、地域活性化につなげるとともに、自転車の安全で適正な利用等を促進し、「サイクル王国やまなし」を実現するため、自転車利用環境の整備、観光資源を活用した魅力づくりとインターネット等を通じた情報発信、受入環境の形成、自転車を活用した健康増進、スポーツ振興、安全適正利用の促進等に取り組んだ。</p> <p>また、自転車の安全適正利用と自転車損害賠償責任保険等への加入促進を図るため、検討会議を設置し、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定した。</p> <p>これにより、スポーツ・レクリエーションを主な目的とした観光客数も増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富士の国やまなしを全力で走る+」サイト等における、サイクルの魅力や観光スポットの情報発信 ・山梨県自転車安全適正利用対策検討会議の設置 令和元年 8月 ・山梨県自転車安全適正利用対策検討会議の開催 4回 ・山梨県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の制定 令和2年 3月 ・山梨県自転車活用推進計画の策定 令和元年 9月 ・やまなし自転車活用戦略会議の設置・開催 令和元年 12月 ・やまなし自転車活用戦略会議 富士北麓・レガシーロード部会の設置・開催 令和2年 2月 ・スポーツ・レクリエーションを目的とした観光入込客 延べ 11,526 千人 (前年比 104.3%) ・「富士の国やまなしを全力で走る+」 ページビュー数 101,596PV (前年比 102.1%)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
南アルプス観光の 促進 【観光資源課】 【道路整備課】 【治山林道課】	観 光 総 務 費 (603) 268 道 路 橋 り よ う 建 設 費 (380,939) 213,114 [167,825] 道 路 橋 り よ う 整 備 費 (33,002) 18,702 [14,300] 道 路 橋 り よ う 総 務 費 (980,167) 583,579 [396,588] 林 道 費 (292,396) 292,396 林 道 費 (恩賜県有財産特別会計) (141,394) 141,394	南アルプス観光のグレードアップを図るため、南アルプス観光活用検討委員会を設置し、南アルプスの環境保全を考慮した上で、基本方針の作成や環境整備、関係機関の取り組みについて検討を行うとともに、南アルプス地域へのアクセス、災害時の避難や救援、物資輸送等を支える交通基盤の整備を計画的に進めた。 これにより、南アルプス観光の促進に寄与した。 ・南アルプス観光活用検討委員会の開催 令和元年7月 ・南アルプス観光活用検討委員会ワーキンググループの開催 2回 ・「南アルプス観光振興ビジョン」の策定 令和2年3月 ・早川芦安連絡道路の整備 ・南アルプス林道の整備 7箇所
「ワイン県」宣言 を活用した観光振 興 【観光振興課】	企 画 総 務 費 (31,000) 30,985	「ワイン県」宣言を契機に、本県への誘客及び県産ワインの高付加価値化を図るため、本県のワインの魅力を全国に向けて情報発信を行った。 これにより、本県の県産食材とワインのマリアージュに関する情報発信が行われ、マスコミ・消費者等からの反響が得られた。 ・プレスイベントの実施 令和2年2月 ・メディア掲載 新聞掲載数 24紙 雑誌掲載数 1誌 WEB掲載数 85件 ・広告換算額 81,221千円

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
世界文化遺産富士山の普及啓発 【世界遺産富士山課】	企画総務費 (84,022) 78,768	<p>富士山の顕著な普遍的価値の理解を促進するため、富士山世界遺産センターを中心に、各構成資産をつなぐ巡礼路の活用や、リバーズ！富士講プロジェクトなどの実施、キッズ・スタディ・プログラムの推進等に取り組んだ。</p> <p>これにより、新たな巡礼路ガイドマップの作成・配布や、関係者を対象に現地研修を行うなど富士山の顕著な普遍的価値に対する理解の深化を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産ガイドマップ（巡礼路）の作成 7,000部 現地研修の開催 令和元年12月
富士山の安全対策の実施 【世界遺産富士山課】 【道路管理課】	企画総務費 (102,446) 100,445 道路維持費 (4,969) 4,969	<p>富士登山者や来訪者の安全確保の観点から、関係機関と情報共有を図るとともに、登山指導やパトロール、救護等の安全対策を実施した。</p> <p>これにより、富士登山の安全確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標識設置・撤去 64箇所 インフォメーションセンター外国人等相談対応件数 12,364件 富士山登下山道維持管理業務実施 令和元年7月～令和元年9月 事前指導の実施 令和元年7月～令和元年9月 登下山道標識の多言語表示や道標の管理 令和元年7月～令和元年9月 安全装備品等への整備支援 ヘッドライトを山小屋へ配備 1,362個
登山の安全の確保 【観光資源課】 【警：地域課】	観光総務費 (12,905) 10,760 一般警察活動費 (3,171) 2,300	<p>登山の安全の確保を図るため、条例の周知・普及啓発を進めるとともに、厳冬期（12月から翌3月）の間は富士山、八ヶ岳、南アルプスの山域の登山口で登山届の提出指導などを行った。</p> <p>これにより、条例に定める登山の安全確保のための環境整備が図られ、本県の山岳観光振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全登山推進会議 3回 登山口指導 県内7箇所 登山口指導期間 69日間 参加者 延べ171人 山岳遭難救助訓練の実施 12回 計28日

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
伝統的観光地の再 活性化 【観光文化政策課】 【観光資源課】	観 光 総 務 費 (1,004) 1,000	<p>観光産業を県内産業の稼ぎの柱とすべく、観光入込客数や観光消費額の停滞に伸び悩む伝統的観光地の再活性化を図るため、地元自治体を主体に、観光事業者等の関係団体や、有識者等で構成する会議を設置・開催し、具体的な施策等を検討するとともに、当該検討結果に基づき、それぞれの立場において取り組みの支援を行った。</p> <p>これにより、事業者、行政、住民が課題や解決方法を共有した上で、それぞれの立場で取り組みを実施していく体制が構築された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「昇仙峡リバイバルプラン」の策定 令和2年3月 ・昇仙峡リバイバル会議準備会の開催 3回 ・昇仙峡リバイバル会議の開催 4回 ・アンケート調査の実施 2回
森林の保健休養機 能の活用 【県 有 林 課】	緑のふるさと推進事業費 (194,934) 193,774 保 護 管 理 費 (恩賜県有財産特別会計) (156,721) 115,487 [34,117]	<p>観光・レクリエーション利用を促進し地域の活性化を図るため、森林公園や森林文化の森などにおいて、地域の福祉・観光等の様々な分野と連携した森林利用プログラムの提供や、金川の森、清里の森の計画的な施設の更新・改修などを行った。</p> <p>これにより、森林が有する保健休養機能の活用に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園等の利用者数 642千人 ・クライン・ヴァルト*の新規利用協定締結企業 1社 ・金川の森の長寿命化 遊具の更新等 ・清里の森の再整備 管理センター改修等
地域資源を活用し た農泊の推進 【農 村 振 興 課】	農 業 総 務 費 (2,500) 2,231	<p>県内各地の農村地域の古民家や伝統食などを観光資源として活用した農泊を推進するため、ビジネスプランの策定等に対し支援した。</p> <p>これにより、農泊に取り組もうとする地域の意欲の醸成や、取り組み団体のネットワーク化が図られ、本県の農泊の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農泊ビジネスセミナーの開催 4回 ・ビジネスプランの磨き上げとモデルツアーの実施 2地区 ・情報交換会の開催 令和2年2月

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
農業遺産の活用による農業振興 【農政総務課】	農業総務費 (5,174) 5,174	<p>ぶどうやももなどの果樹農業を将来にわたって維持発展させ、景観の保全を図るため、峡東3市及び関係団体と連携し、世界農業遺産への認定手続きを進めるとともに、果樹農業システムの保全及び認定後の地域活性化に向け取り組んだ。</p> <p>これにより、世界農業遺産の認定に向け、国連食糧農業機関（FAO）へ申請することができた。</p> <p>また、果樹農業システムの保全に係る農業者や地域住民の意識の醸成が図られ、地域活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 峡東地域世界農業遺産推進協議会総会の開催 令和元年 5月 ・ FAO へ認定申請 令和元年 10月 ・ 農業遺産セミナーの開催 令和元年 11月 参加者約 300人 ・ 保全計画に掲げた取り組みへの支援 13項目 ・ 認定後の活用方策について協議会で検討 2回
インフラの価値や魅力の情報発信 【景観づくり推進室】	土木総務費 (3,923) 3,204	<p>インフラへの理解を深めるとともに新たな観光資源として県内外からの誘客や地域の活性化を促すため、インフラが持つ役割とその技術的、文化的な価値や魅力についてポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」を開設し情報発信するとともに、現場見学会やインフラツーリズム候補地視察・検討会を実施した。</p> <p>これにより県民や県外観光客に対するインフラの価値や魅力の認知度向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイトの開設 令和2年 2月 紹介施設 36施設 動画掲載施設 6施設 ・ 親子現場見学会の開催 令和元年 11月 参加者 25組 69人 ・ インフラツーリズム候補地視察・検討会の開催 令和元年 11月 11施設

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	3	農業の成長産業化	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	10
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>ぶどうやももなどの果実は、本県の農業生産額の過半数を占める基幹品目となっています。今後は、首都圏などの国内市場に加え、アジア諸国を中心とした海外市場において、一層のブランド強化と販路拡大を進め、高品質で付加価値の高い農産物の生産拡大を図ります。</p> <p>さらに、県産の野菜や米、食肉、魚、花きなどのブランド強化を図るとともに、ICT等を活用したスマート農業の研究、普及を進めるなど、生産コストの低減や省力化を進め、収益性の向上を図ります。</p>				
令和元年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局
	○ ビッグデータを活用したスマート農業の推進		P.21	農 政 部
	○ 県産農産物等の輸出拡大		P.21	農 政 部
	○ オリジナル品種の育成、高品質化の推進		P.22	農 政 部
	○ 農業競争力を強化するための基盤整備の推進		P.22	農 政 部
	○ 県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進		P.23	農 政 部
	○ 水田のフル活用の推進		P.23	農 政 部
	○ 農地集積の促進		P.24	農 政 部
	○ 農業の6次産業化の推進		P.24	農 政 部
	○ 内水面漁業の振興		P.25	農 政 部
○ 家畜の防疫対策		P.25	農 政 部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		6,890 百万円	
	前年度までの事業費		— 百万円	
	本年度の事業費		6,890 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	県産果実の輸出額	925 百万円 (H30)	1,300 百万円 (R 4)	906 百万円 (R 1)	△ 5.1
	赤系ぶどう苗木供給本数	0 本 (H30)	5,000 本 (R 4 累計)	0 本 (R 1)	0.0
	試験研究成果情報数	10 件 / 年 (H30)	10 件 / 年 (R 4)	11 件 / 年 (R 1)	—
	果樹産地等における基盤整備面積	4,294 ha (H30)	4,700 ha (R 4)	4,400 ha (R 1)	26.1
	ももオリジナル品種「夢みずき」 出荷量	22t / 年 (H30)	250t / 年 (R 4)	40t / 年 (R 1)	7.9
	ぶどうオリジナル品種「ブラック キング」 出荷量	0t / 年 (H30)	100t / 年 (R 4)	1t / 年 (R 1)	1.0
	「甲州牛」 出荷頭数	389 頭 / 年 (H30)	500 頭 / 年 (R 4)	376 頭 / 年 (R 1)	△ 11.7
	麦、大豆、加工・飼料用米等の作 付面積	337 ha (H30)	381 ha (R 4)	340 ha (R 1)	6.8
	農地集積率	38.6% (H30)	44.5% (R 4)	40.9% (R 1)	39.0
	荒廃農地解消累計面積	2,234 ha (H30)	2,870 ha (R 4)	2,435 ha (R 1)	31.6
	6次産業化に新たに取り組む農業 者等	92 経営体 (H30)	132 経営体 (R 4)	102 経営体 (R 1)	25.0
	「富士の介」 出荷量	0t / 年 (H30)	40t / 年 (R 4)	11t / 年 (R 1)	27.5
	モニタリング検査数	116 件 / 年 (H30)	116 件 / 年 (R 4)	116 件 / 年 (R 1)	—
	防疫演習	4 回 / 年 (H30)	4 回 / 年 (R 4)	2 回 / 年 (R 1)	—
(家畜伝染病の予防対策のための) 立入検査・指導	2 回 / 年 (H30)	2 回 / 年 (R 4)	2 回 / 年 (R 1)	—	

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
ビッグデータを活用したスマート農業の推進 【農業技術課】	総合農業技術センター費 (870) 870 農業改良普及費 (6,579) 6,360	ビッグデータを活用した省力化技術やI o T等を活用した先進技術を普及するため、ビッグデータの蓄積やI o T等を活用した先進技術を導入、実証し、農業の収益力向上を図った。 これにより、高品質化や省力化等の生産性の向上が図られ、ビッグデータを活用したスマート農業の推進に寄与した。 ・ A Iを活用した野菜の病害虫診断技術の開発 <div style="text-align: right;">開発中 1件</div> ・ I o T等の先進技術の導入、実証 <div style="text-align: right;">8件</div>
県産農産物等の輸出拡大 【販売・輸出支援課】	果樹園芸等振興費 (61,969) 51,998	県産農産物等の輸出を拡大するため、検疫条件が未設定の中国へのぶどう輸出の実現に向けて取り組むとともに、輸出の促進に向けた新たな体制づくりと、アジア諸国への戦略的・効果的な販売促進活動を推進した。 これにより、県産農産物等の現地での更なる認知度向上が図られ、アジア諸国への輸出促進に寄与した。 ・ 中国向けぶどうの解禁に向けた国への要望 2回 ・ 中国市場マーケティング調査 <div style="text-align: right;">令和元年9月～令和2年3月</div> ・ 中国国際果物野菜展示会への参加 令和元年9月 ・ プロモーション活動 <div style="margin-left: 20px;">台湾 6回</div> <div style="margin-left: 20px;">タイ 2回</div> <div style="margin-left: 20px;">マレーシア 1回</div> <div style="margin-left: 20px;">インドネシア 1回</div> ・ フルーツショップの設置 <div style="margin-left: 20px;">香港 1回</div> <div style="margin-left: 20px;">台湾 2回</div> ・ フルーツフェアの開催 <div style="margin-left: 20px;">シンガポール 令和元年9月</div> <div style="margin-left: 20px;">インドネシア 令和元年8月～令和元年9月</div> ・ トライアル輸出の実施 <div style="margin-left: 20px;">U A E 令和元年9月～令和元年10月</div> ・ 農業生産法人等への販路開拓機会の提供 <div style="margin-left: 20px;">海外バイヤーとの商談会 4回</div> ・ 農産物等海外販売・情報発信拠点の設置 <div style="margin-left: 20px;">シンガポール、マレーシア 年間</div>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>オリジナル品種の育成、高品質化の推進</p> <p>【農業技術課】 【食糧花き水産課】 【果樹・6次産業振興課】</p>	<p>果樹試験場費 (6,762) 6,470</p> <p>総合農業技術センター費 (5,148) 5,073</p> <p>果樹園芸等振興費 (969,814) 122,555 [804,015]</p>	<p>本県農産物のブランド化と産地化を進め、農業者の所得向上を図るため、本県農産物のオリジナル品種の育成、高品質・省力化に向けた試験研究や、販路拡大等を推進するとともに、高品質化や集出荷の効率化に向けた施設等の整備を進めた。</p> <p>これにより、オリジナル品種の育成や、果実の高品質化と選果等の効率化が図られ、本県農産物のブランド化と産地化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹等のオリジナル品種の育成 品種登録 1件 ・赤系ブドウ（新品種）の産地化 登録出願 1件 ・ピラミッドアジサイのモデル展示 35箇所 ・農作物の高品質化・省力化栽培技術の開発・普及 11件 ・ぶどう加温ハウスや雨よけ施設などの整備支援 42件 ・もも集出荷施設の整備に向けた支援 1件
<p>農業競争力を強化するための基盤整備の推進</p> <p>【耕地課】</p>	<p>農地総務費 (8,720) 8,720</p> <p>土地改良費 (5,552,167) 3,132,821 [2,406,564]</p>	<p>県産農産物の生産性向上及び生産者の所得向上を図るため、担い手のニーズに対応しつつ、果樹産地等におけるほ場や農道、用排水路などの農業生産基盤の整備を推進した。</p> <p>これにより、果樹産地等の再編整備が図られ、農業の競争力強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場、農道等の農業生産基盤整備 身延南部地区 外 37 地区 ・樹園地等の農地の総合的な整備 菱山地区 外 17 地区

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
<p>県産農産物等の国内における「やまなしブランド」の強化と戦略的・効果的な販売促進</p> <p>【販売・輸出支援課】 【果樹・6次産業振興課】 【畜産課】 【食糧花き水産課】</p>	<p>農業総務費 (18,894) 18,753</p> <p>水産業振興費 (6,522) 6,166</p> <p>酪農試験費 (1,132) 1,132</p>	<p>県産農産物等のブランドを全国に浸透させるため、これまで以上に県と農業関係団体が一体となり、民間ノウハウを活用したPRなど新たな取り組みや市場、小売店等における販売促進活動の強化を図った。</p> <p>これにより、首都圏等の大消費地において県オリジナル品種、甲州牛、富士の介をはじめ県産農産物等の更なる認知度向上が図られ、ブランドの浸透と強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ facebookによるPR 15回 ・ ヴァンフォーレ甲府アウェイ用練習着によるPR等 ・ 有名百貨店等における逸品キャンペーンの実施 91店舗 ・ 有名百貨店等における逸品農産物のチラシの配布 8回 1,000部 ・ 大消費地等でのトップセールスの実施 <ul style="list-style-type: none"> 京浜地区 令和元年 7月 関西・中京地区 令和元年 8月 首相官邸 令和元年 8月 豊洲市場 令和元年 10月 ・ 畜産クラスター事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> 取り組み主体 10協議会 ・ 水産物見本市への出展 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年 8月 来場者約 1,500人
<p>水田のフル活用の推進</p> <p>【食糧花き水産課】</p>	<p>農業総務費 (43,358) 40,276</p> <p>主要農作物生産対策費 (51,253) 51,031</p>	<p>水田をフル活用し、需要に応じた麦や大豆、野菜への転換、及び加工用米、飼料用米等の作付けを促進するため、生産拡大等に取り組む農業者を支援した。</p> <p>これにより、転作に必要な機械等が整備されるとともに省力化が図られ、転作作物等の生産拡大等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「水田フル活用ビジョン」の策定 24市町村 ・ 転作作物等の生産拡大等に必要な機械・施設整備の支援 6件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農地集積の促進 【担い手・農地対策課】 【耕 地 課】	農 地 調 整 費 (87,977) 82,198 土 地 改 良 費 (5,583,940) 3,141,654 [2,401,314]	<p>担い手への農地の集積・集約化を進めるため、農地中間管理機構が行う事業（農地の借り受け・貸し付け、当該農地の利用条件の改善）や市町村等が行う荒廃農地の再生を支援するとともに、ほ場整備や農道等の基盤整備を推進した。</p> <p>これにより、基盤整備による農作業の省力化や効率化が図られ、農地の担い手への貸し付けが進み、農地集積の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地集積面積 451.6 ha うち農地中間管理事業による集積面積 201 ha ・ 農作業の省力化、効率化に向けた基盤整備 茅ヶ岳西麓地区 外 48 地区 ・ 基幹農道整備 東八中央東 3 期地区 外 6 地区
農業の 6 次産業化の推進 【果樹・6次産業振興課】 【農 村 振 興 課】 【耕 地 課】	農 業 総 務 費 (47,388) 47,211	<p>農産物等の付加価値を高め、農家所得の向上を図るため、やまなし 6 次産業化サポートセンターを設置し、専門家による加工技術等のアドバイスなどを通じて、農業者等が取り組む商品開発や販路開拓等を支援するとともに直売所等の販売拠点の整備を支援した。</p> <p>これにより、本県の農林水産物資源を活用した 6 次産業化の取り組みを拡大するとともに、直売所等の販売拠点の整備が図られ、農業の 6 次産業化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 次産業化サポートセンターの専門家の支援 延べ 69 経営体 ・ 直売所、農産物加工施設等の整備 7 件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
内水面漁業の振興 【食糧花き水産課】 【販売・輸出支援課】	水産業振興費 (76,200) 71,991	<p>内水面漁業を振興し、養殖業者の所得向上を図るため、県が開発した「富士の介」のブランド化を進めた。また、観光と連携して河川や湖沼における釣りなどの遊漁の活性化を図るため、水産資源の保全や漁場環境の改善に向けた啓発活動などに取り組んだ。</p> <p>これにより、富士の介の販路開拓や釣りなどの遊漁の活性化が図られ、内水面漁業の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖技術現地実証 7箇所 ・富士の介生産者連絡会議 3回 ・富士の介出荷量 11t ・水産物見本市への出展 令和元年8月 来場者約1,500人 ・豊洲市場での試食会 令和元年9月 参加者約200人 ・カワウ県下一斉追い払い 令和元年5月 参加団体・者11 漁協490人
家畜の防疫対策 【畜産課】	家畜保健衛生費 (155,997) 94,745 [14,806]	<p>C S F や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病が発生した時に円滑かつ迅速な対応を行うため、危機管理体制を構築し、疾病対策を推進した。</p> <p>これにより、危機管理意識が向上するとともに、重大な家畜伝染病の発生に備えた体制整備が図られ、本県でC S F が発生した際、迅速な防疫措置と発生拡大の防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県対策本部の開催 2回 ・現地対策本部の開催 3回 ・C S F 発生に伴う防疫措置 2回 ・C S F ワクチン接種 初回接種 約12,000頭 追加接種 毎月4,000頭 ・野生イノシシ侵入防止柵の設置 18施設

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
----	---	---------------

政策	4	林業の成長産業化	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	6
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>本県の人工林は、一般的な主伐期である50年生以上の森林が6割を超えているなど、本格的な伐採時期を迎えていることから、この資源を活用した林業の成長産業化を進めていく必要があります。</p> <p>このため、森林施業の生産性向上や、木材加工流通施設整備への支援などによる品質の高い木材製品の安定供給とともに、東京圏や海外などへの新たな販路開拓、公共建築物等への積極的な利用による需要拡大を進めるほか、川上側の林業と、川中・川下側の木材関連産業が連携したサプライチェーンの強化を図るなど、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用に向けた取り組みを推進します。</p>				
		項 目	頁	担当部局
令和元年度の主な取り組み状況		○ 森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進	P.29	森 林 環 境 部
		○ 県産材供給体制の強化	P.29	森 林 環 境 部
		○ 県産材需要拡大の推進	P.30	森 林 環 境 部
		○ 森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進	P.30	森 林 環 境 部
		○ 特用林産物の産地化の推進	P.31	森 林 環 境 部
		○ 木質バイオマス*の利活用の推進	P.31	森 林 環 境 部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		2,962 百万円	
	前年度までの事業費		一 百万円	
	本年度の事業費		2,962 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	木材生産量	201 千 m ³ / 年 (H30)	272 千 m ³ / 年 (R 4)	223 千 m ³ / 年 (R 1)	31.0
	製材用途の木材生産量	24 千 m ³ / 年 (H30)	32 千 m ³ / 年 (R 4)	30 千 m ³ / 年 (R 1)	75.0
	林内路網の整備延長	4,598 km (H30 累計)	4,778 km (R 4 累計)	4,645 km (R 1 累計)	26.1
	クロアワビタケの生産量	0.32t / 年 (H30)	4.00t / 年 (R 4)	0.92t / 年 (R 1)	16.3
	木質バイオマス燃料用木材供給量	38 千 m ³ / 年 (H30)	109 千 m ³ / 年 (R 4)	67 千 m ³ / 年 (R 1)	40.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
森林の多面的機能の持続的発揮を図る取り組みの推進 【森林環境総務課】	林業試験費 (13,116) 11,715	本格的な利用期を迎えた人工林資源の循環利用による森林の多面的機能の持続的発揮を図るため、森林・林業・木材産業施策の基本方針となる新たな計画を策定した。 これにより、森林の多面的機能の持続的発揮に向けた取り組みの推進に寄与した。 ・「やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン」の策定 令和2年3月 ・山梨県森林審議会の開催 3回 ・森林総合研究所における試験・研究の実施 18課題
県産材供給体制の強化 【森林整備課】 【林業振興課】 【県有林課】	造林費 (717,494) 404,800 [309,296] 林業振興指導費 (42,824) 20,717 [17,615] 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (824,355) 672,243 [144,508] 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (106,057) 93,374 [8,931]	森林施業における伐採と造林の一貫作業システムやICT等の先端技術を活用したスマート林業の導入などによる生産性の向上、再造林に必要な苗木の生産力強化などによる森林整備の推進、木材加工流通施設の充実、林業・木材産業関連事業者によるサプライチェーンの構築などに取り組んだ。 これにより、県産材の供給体制の強化に寄与した。 ・カラマツ苗木生産に向けた採種園の整備 0.4 ha ・森林整備の実施面積 6,248 ha ・高性能林業機械の導入に対する助成 1件 ・サプライチェーンの構築に取り組んだ企業グループに対する助成 7件

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
県産材需要拡大の 推進 【林業振興課】 【県有林課】	林業振興指導費 (65,299) 64,167 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (1,313) 1,108	「山梨県県産木材利用促進条例」に基づく基本方針を策定し、公共建築物の原則木造・木質化や、住宅、民間施設等への県産材の利用を促進するとともに、東京圏や海外において、新たな販路の拡大に向けて取り組んだ。 これにより、県産材の需要拡大の推進に寄与した。 ・「県産木材の利用の促進に関する基本方針」の策定 令和2年3月 ・公共建築物の木造・木質化 22件 ・販路拡大に向けた首都圏自治体との意見交換 5回 ・中国、韓国、台湾における市場調査の実施 令和元年10月～令和2年3月 ・県産FSC認証材*の展示会等でのPR 6回
森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進 【治山林道課】 【森林整備課】 【県有林課】	造林費 (87,052) 63,702 [22,841] 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (37,789) 32,610 [5,179] 計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (14,377) 14,377 林道費 (464,623) 301,744 [161,308] 林道費 (恩賜県有財産特別会計) (1,804,889) 1,278,520 [526,369]	木材の搬出や森林施業を効率的に行うための基盤となる、林道や森林作業道等の林内路網の計画的な整備を推進した。 これにより、森林施業の低コスト化を図る林内路網整備の推進に寄与した。 ・「林内路網整備計画」の策定 令和2年3月 ・林道の整備 延長6.6km ・森林作業道の整備 延長40.7km

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
特用林産物の産地化の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (1,857) 1,460	<p>県が商標登録した「山梨夏っ子きのこ（クロアワビタケ）」や「k a i 大黃（ダイオウ）」など山梨オリジナルの特用林産物新品種の栽培技術を確立するとともに、生産者の育成、販路の拡大に取り組んだ。</p> <p>これにより、山村地域の活性化に向けた特用林産物の産地化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロアワビタケの生産量 0.92 t ・特用林産物の栽培技術の確立及び生産者の育成 栽培指導 24 件 研修会開催 2 回 ・道の駅等での特用林産物の P R 活動 14 回
木質バイオマスの利活用の推進 【林業振興課】	林業振興指導費 (1,235) 1,233	<p>木質ボイラーやペレットストーブなどの設備、木材チップ加工施設等の整備を支援するとともに、木質バイオマスの安定供給体制の整備に取り組んだ。</p> <p>これにより、木質バイオマスの利活用の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス燃料用木材供給量 67 千 m³ ・設備導入に向けた専門技術者派遣・見学会の開催 6 回

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	1	攻めの「やまなし」成長戦略
-----------	----------	----------------------

政策	5	地場産業や経済を循環させる産業の強化	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	8
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>ワインなどのブランドは国際的に認知されてきており、織物などについてもブランド化が進みつつあります。今後は、高い品質や高度な技術を生かし、海外を含め、さらにブランド化を進め、利益率の高い産業へと強化していく必要があります。</p> <p>また、様々な産業が県外、さらには国外から獲得した新たな需要による経済効果を地元経済に波及させ、地域経済全体を活性化するため、商業やサービス業など、地域に密着した産業の強化を図ります。</p>				
令和元年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 企業支援の充実		P.35	産 業 労 働 部
	○ 産地のブランド形成の推進		P.35	産 業 労 働 部
	○ ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興		P.36	産 業 労 働 部 外
	○ 日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立		P.36	産 業 労 働 部 外
	○ 地域商業活性化への支援		P.37	産 業 労 働 部
	○ 郷土食等による地域の活性化・観光振興		P.37	県 民 生 活 部
	○ 豊かな食材を活用した食のブランドの確立		P.37	観 光 文 化 部
	○ 史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化		P.38	観 光 文 化 部 外
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		9,687 百万円	
	前年度までの事業費		— 百万円	
	本年度の事業費		9,687 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	経営計画・経営革新計画を作成した企業	298社/年 (H30)	1,500社 (R1～4累計)	525社 (R 1)	35.0
	県事業により海外への販路開拓に取り組んでいる事業者数	99社 (H27～30累計)	110社 (R1～4累計)	20社 (R 1)	18.2
	醸造用甲州供給量	3,495t/年 (H29)	3,900t/年 (R 4)	—	—
	甲州ワイン生産量	2,516 kl/年 (H29)	2,800 kl/年 (R 4)	—	—
	産業技術センターにおける醸造技術向上のための依頼試験・設備利用累計件数	87件 (H30)	390件 (R1～4累計)	225件 (R 1)	57.7
	県の支援による新規出店者数	145件 (H27～30累計)	160件 (R1～4累計)	102件 (R 1)	63.8
	食の伝承マイスターの認証件数	5件 (H30)	10件 (R2累計)	7件 (R 1)	40.0
	本事業で創造した料理スタイルに賛同し、新たな取り組みを行う県内飲食関係団体数	—	2団体 (R 4)	0団体 (R 1)	0.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
企業支援の充実 【産業政策課】 【成長産業推進課】 【産業振興課】	商工総務費 (152,982) 140,542 資金貸付金 (商工業振興) (資金特別会計) (16,104,631) 9,335,119	本県経済の持続的発展と活性化を図るため、中小企業・小規模企業が行う新技術や新製品の研究開発、経営環境の改善に向けた事業転換や販路開拓などの取り組み、更には、生産性向上のための先進技術の活用、事業承継の取り組み等を支援した。 これにより、企業支援の充実が図られた。 <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画・経営革新計画作成の支援 525社 ・経営革新計画を作成した企業 20社 ・経営計画を作成した企業 436社 ・IoT導入事業者への県支援 12件 ・商工業振興資金の新規貸し付け 777件 ・産業技術センターにおける技術相談 5,170件 ・産業技術センターにおける依頼試験 5,863件 ・産業技術センターにおける設備使用 28,765件 ・事業承継ネットワーク会議の開催 2回 ・事業承継診断の実施 3,502件
産地のブランド形成の推進 【産業振興課】	商工総務費 (38,435) 31,489 商工振興費 (3,948) 3,670	地場産業のブランド力を向上させるため、山梨のワインや日本酒、ジュエリー、織物等の認知度向上や付加価値を高める取り組みの推進、販路拡大などを図るとともに、伝統工芸品の需要開拓や後継者育成を行った。 これにより、産地のブランド形成の推進に寄与した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドプロモーション支援事業費補助金等による地場事業者の取り組みの支援 19件 ・中国・大連市での展示会に出展 6社 ・伝統工芸品産地組合の展示会出展や後継者育成、意匠開発の取り組みへの支援 4件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興 【産業振興課】 【果樹・6次産業振興課】	商 工 振 興 費 (500) 500 果樹園芸等振興費 (8,161) 8,117 農 地 調 整 費 (3,551) 2,990	山梨ワインの更なる高品質化に向け、ワイン醸造技術の向上などに取り組むとともに、優良系統の苗木の供給等による「甲州」の生産拡大や、本県に適した欧州系品種の選抜・ウイルスフリー母樹の育成と選抜による高品質化など、醸造用ぶどうの生産振興を図った。これにより、ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興に寄与した。 ・ワイナリーへの技術指導 5社 ・講演会等の開催 10回 ・醸造用ブドウ栽培マニュアル作成 ・優良系統甲州の苗木の供給本数 約1,000本 ・欧州系品種のウイルスフリー化 3品種6系統
日本酒産業の振興と原材料用酒米の産地確立 【産業振興課】 【食糧花き水産課】	商 工 総 務 費 (21,852) 21,201 主要農作物生産対策費 (49,370) 49,148	日本一の名水の地山梨で造られる日本酒の更なる高品質化に向け、日本酒醸造技術の向上などに取り組むとともに、本県に適合する酒米品種を選定し、原材料となる酒米の生産拡大を促進した。これにより、日本酒の研究開発機能の強化と生産技術者の育成に寄与した。また、酒米の生産拡大等に必要な機械や施設等の整備が図られ、酒米の産地確立に寄与した。 【日本酒研究開発】 ・日本酒製造装置及び製麹装置の導入 各1式 ・日本酒を含む発酵食品産業向けのセミナーの開催 2回 参加者123人 【酒米の生産拡大等】 ・転作作物等の生産拡大等に必要な機械・施設整備の支援 3件(酒米のみ)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
地域商業活性化への支援 【産業政策課】 【産業振興課】	商業振興費 (12,592) 6,531 資金貸付金 (商工業振興) (資金特別会計) (300,000) 68,746	商店街をはじめとした地域商業の活性化を推進するため、商店街等が実施するハード整備やソフト事業、起業による新規出店を支援するとともに、地域商業活性化を担う人材を育成した。 これにより、地域商業の活性化が図られた。 ・地域商業活性化に向けた新規出店等の支援 37件 ・商店街人材育成セミナー 3回 ・商工業振興資金起業家支援融資の利用 73件
郷土食等による地域の活性化・観光振興 【県民安全協働課】	消費者行政費 (7,929) 6,356	食による地域の活性化や観光振興を図るため、本県で食育推進全国大会を開催するとともに、「やまなしの食」育み会議の開催、食の伝承マイスター認証等により、食による地域の魅力を再発見する取り組みを進めた。 これにより、やまなしの食や食文化に対する関心が高まり、「食」による地域の活性化や観光振興に寄与した。 ・食育推進全国大会の開催 令和元年6月 ・「やまなしの食」ハンドブックの作成 10,000部 ・郷土食の新レシピコンテストの開催 令和2年1月
豊かな食材を活用した食のブランドの確立 【観光振興課】	企画総務費 (929) 781	食の魅力による誘客や観光産業の収益力向上を図るため、本県の豊かな食材を活用した新たな料理スタイルの創造や飲食関係団体の支援などを行った。 これにより、本県の豊かな食材が発掘されるとともに、新たなレシピが作られる等、食のブランドの確立に寄与した。 ・県産食材に係る調査の実施 令和元年10月～令和2年3月 ・山梨の食とワインに関するイベントの実施 2回

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
史跡甲府城跡の適切な継承と中心市街地の活性化 【文化振興・文化財課】 【都市計画課】 【産業政策課】	文化財保護費 (5,213) 5,001 土木総務費 (18,701) 6,531 [12,170]	郷土への誇りや愛着を深め、史跡甲府城跡を次代へ着実に継承しつつ、更なる活用を推進するとともに、中心市街地の賑わいの創出や活性化を図るため、甲府城周辺整備を進めた。 これにより、甲府中心市街地の活性化に寄与した。 ・史跡甲府城跡保存活用計画検討委員会の開催 4回 ・芝生公園（南広場）の暫定的整備